

2.1%

これは平成26年度の本宮市の小学生(1年 から6年)のうち、肥満傾向が見られる子ど もの割合です

24 年度 25 年度 26 年度 22 年度

7歳	6.86 12	9.89 ①	8.82 ③	9.64 ①
9歳	11.16 ®	13.97 ①	12.76 ②	15.07 ①
11歳	13.77 ②	14.53 ②	14.01 ②	14.43 ①

福島県の肥満傾向の割合(%)。丸数字は都道 府県別順位

ディカウンターやガラスバッジ・甲状 染の進行や風評被害の払拭、ホールボ 度)では、市内小学校全校の受検者 外で遊ぶ機会が減りました。 子どもたちの屋外での活動が制限され であると言われています。発災当初、 る)にあることがわかりました。 傾向(標準体重を20%以上上回ってい 主な要因は東日本大震災と原発事故 震災から4年余りが経過した今、 最新の学校保健統計調査(平成26年 767人のうち約12. 1%が肥満 肥満傾向が高まっています。 除

> が指摘されています。 運動不足が習慣化してきている可能性 ぶ機会は徐々に回復してきたものの、 腺検査などの健康管理により屋外で游

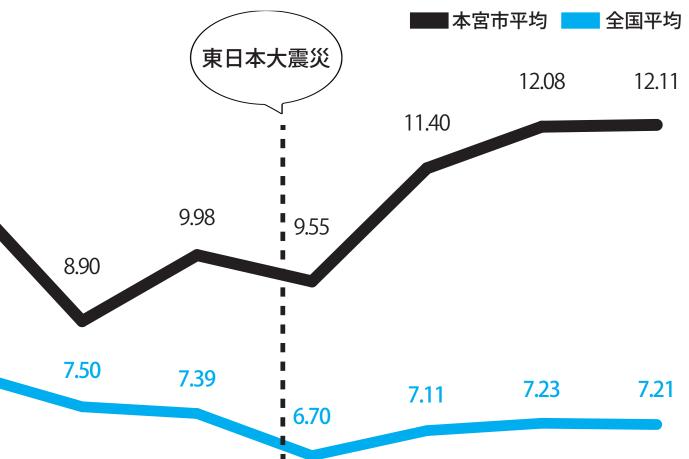
|学校1年生から6年生)

実、本宮市の子どもたち

なってきていることが読み取れます。 宮市の小学生の肥満傾向が徐々に高く ますが、グラフを見ると、震災以降本 もと肥満傾向の子が多いと言われてい 福島県は、冬に雪が積もるため、 が全国平均を示しています。東北地方・ います。黒線が本宮市の小学生、青線 全体に占める肥満傾向の割合を示して 下のグラフは、小学生を対象とした 運動不足による体力低下も懸 もと

きます。 そのための取り組みについて考えてい うすれば良いのでしょうか。ここでは 低下を解消するためには、これからど 念されています。 外遊びの機会を増やし、 肥満と体力

■小学生の肥満傾向の推移



平成21年 平成 22 年 平成 23 年 平成 24 年 平成 25 年 平成 26 年